グレイス・ケリー

Grace Kelly

グレース・ケリー

生年月日 1929/11/12
出身地 アメリカ／ペンシルヴェニア州フィラデルフィア
没年 1982/09/14

【バイオグラフィ】

■本名はGrace Patricia Kelly。アイルランド系の建築業者の父親とドイツ系の母親との間に生まれた４人兄妹の三女。幼い頃からダンス、バレエなどを習い、１８歳の時に女優を目指しニューヨークへ渡りアメリカ演劇アカデミーに入学。ブロードウェイで『父』の端役で出演しているところをスカウトの目に止まり、５１年、“Fourteen Hours”で映画デビュー。その作品を見たスタンリー・クレイマー監督が「真昼の決闘」のヒロイン役に抜擢。一躍脚光を集める。以後、ヒッチコック作品などに出演を重ね（「裏窓」の時の美しさは溜息が出るほど！）人気を不動の物にし、気品に満ちたその美貌は「クール・ビューティー」と称された。５４年には「喝采」でアカデミー主演女優賞を受賞。その後、カンヌ映画祭で知り合ったモナコ王国レーニエ国王と、５６年４月１８日に結婚。以降、映画界からの再三の誘いにも応じずにその立場を守り続け、３人の子供にも恵まれた（妊娠中のお腹をそっとバッグで隠した写真がＬＩＦＥ誌の表紙を飾り、そのバッグが後に「ケリー・バッグ」と呼ばれるよう）。しかし８２年、自ら運転する車で南仏の別荘からモナコに戻る途中、脳梗塞を発症してしまい、急カーブの坂道でガードレールを突き破り、道路横の崖を転落。搬送先の病院で意識が戻らないまま翌日にこの世を去ってしまった。

【フィルモグラフィ】

マリア・カラスの真実（2007）	出演
グレース・ケリー　公妃の生涯（1987）	出演
ジェームズ・スチュアートのすべて（1980）	出演
ウエスタンヒーローズ／西部劇名場面集（1977）	出演
上流社会（1956）	出演 :トレイシー・ロード
世紀の王妃（1956）	出演
白鳥（1955）	出演 :アレクサンドラ姫
泥棒成金（1955）	出演 :フランセス・スティーヴンス
緑の火・エメラルド（1954）	出演
喝采（1954）	出演 :ジョージー・エルジン
トコリの橋（1954）	出演 :ナンシー・ブルーベイカー
裏窓（1954）	出演 :リザ・フレモント
ダイヤルMを廻せ！（1954）	出演 :マーゴ・ウェンディス
モガンボ（1953）	出演 :リンダ
真昼の決闘（1952）	出演 :エミイ
１４時間の恐怖（1951）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.